保健指導記録票 継続保健指導① (健診受診後4~5か月) 様式5-1 オモテ (生年月日) 住所 被保険者番号 特定保健指導積 動情不 者個 健診結果 人情 [年度目] 年齢 未受療重症化ハイリスク者(2年度目以降) 管理用番号 個人番号 レセフトチェック実施日(必須) 平成 年 月 日 □レセプトあり(平成 年 月診療分) □調剤レセプトあり □レセプトなし(未受療・中断) ·受療疾病名 血圧 糖 脂質 腎 •投薬名 確 ·初診年月日 平成 年 月 日 認 保健指導計画(必須) よみとり(アセスメント) (準備に要した時間 分程度) 指導準備 指導保健師番号(必須) 氏名(必須) □本人、家族とも会えず 実施者(必須) □本人 □家族(実施日(必須) 平成 □個別 月 実施形態(必須) □訪問 □電話 分間 施 **実施時間(必須)** 時 分~ □その他 (所要時間の逸脱の場合その理由) **指導場所(必須)** □自宅 □その他 指導内容 家族構成(必須) □ 単身 □ 夫婦のみ 口子どもまたは親等2人世帯 口3人以上世帯 12時 生活習慣 使用した資料番号(必須) 支援した内容 ・リスク低下の阻害要因 [行動することによる利益の理解][実際の行動することによる負担・障害] ・受療と併せて、必要な生活習慣の改善について(継続指導時に向けて)(必須) [複数チェック可] □食事 □身体活動 □喫煙 □飲酒 □睡眠 □休養 □なし 具体的に ・提案した行動のきっかけ(必須) 口不要 口困難 受療以外に、前回の保健指導以降始めたこと 口あり 口なし その他

保健指導記録票

継続保健指導① (健診受診後4~5か月)

様式5-1

保健指導記録票 継続保健指導① (健診受診後4~5か月) 様式5-1 ウラ 管理用番号 個人番号 健指導結果から 受療していた場合(必須) □ 継続受療(非薬物治療) (初回保健指導から3カ月後までのレセプトでの情報により) □ 継続受療(薬物治療) (初回保健指導から3カ月後までのレセプトでの情報により) 受療結果(必須) □ 継続受療の必要なし(医師の指示) (初回保健指導から3カ月後までのレセプトがない場合での本人からの情報) (受療状 未受療の場合 理由(必須) [複数チェック可] (初回保健指導から3カ月後までのレセプトがない場合での本人からの情報) □受療する必要がないと思っている □忙しい □家庭の理由 □経済的な問題 □医療機関不信 □医療機関へのアクセス □怖い □先に生活習慣改善をしてみたい □その他(具体的に) 今後の受療について(必須) 受療先医療機関名 当該医療機関の選定理由 口紹介 口本人希望 段階 受療の重要性[0(最小)~10(最大)] 受療行動の可能性[0(最小)~10(最大)] 段階 今後 レセプト確認実施時期(必須) 平成 年 月に確認 継続保健指導実施時期(必須) 平成 年 月 日に継続保健指導 口予定 口予約済み 管理台帳への記載(必須) □記載済み 備考

保健指導記録票 継続保健指導① (健診受診後4~5か月) (2015,0727改編)

様式5-1

保健指導記録票 継続保健指導② (健診受診後7~8か月) 様式5-2 (生年月日) 氏名 対象者個人情報 被保険者番号 特定健能,受診日平成年月日 重症種別、血圧糖、脂、尿 特定保健指導 積動 情不 健診結果 年齢 [年度目] 未受療重症化ハイリスク者(2年度目以降) 個人番号 管理用番号 レセプトチェック実施日(必須) 日 平成 月 ロレセプトあり(平成 年 月診療分) □調剤レセプトあり □レセプトなし(未受療・中断) レセプト •受療疾病名 血圧 糖 脂質 腎 投薬名 · 確 認 •初診年月日 平成 年 月 日 □受療中断 保健指導計画(必須) よみとり(アセスメント) (準備に要した時間 分程度) 保健指導準備 指導保健師番号(必須) 氏名(必須) 保 健指 **実施者(必須**) □本人 □家族(□本人、家族とも会えず **実施日(必須)** 平成 実施形態(必須) □訪問 □個別 □電話 実施時間(必須) 時分 ~ 時分 分間 □その他 施 (所要時間の逸脱の場合その理由) 指導場所(必須) 口自宅 □その他 指導内容 家族構成(必須) □ 単身 □ 夫婦のみ 口子どもまたは親等2人世帯 □3人以上世帯 職歴 生活習慣 12時 18時 使用した資料番号(必須) 支援した内容 ・リスク低下の阻害要因 [行動することによる利益の理解][実際の行動することによる負担・障害] ・受療と併せて、必要な生活習慣の改善について(継続指導時に向けて)(必須) [複数チェック可] □身体活動 □喫煙 □飲酒 □睡眠 □休養 □食事 □なし 具体的に ・提案した行動のきっかけ(必須) 口不要 口困難 受療以外に、前回の保健指導以降始めたこと 口あり 口なし 具体的に その他

保健指導記録票 継続保健指導② (健診受診後7~8か月)

様式5-2

オモテ

保健指導記録票 継続保健指導② (健診受診後7~8かま) 様式5-2 ウラ

	水连16号00虾木 爬机	INE1846	第100 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(四/平)	1,570	
			管理用番号	個人番号		
保						
健	受療していた場合(必須)	□ 継続受療(非薬物治療)(継続保健指導から3カ月後まで	のレセプトでの情報により)		
指導	受療結果	□ 継続受療(薬物治療) (継続保健指導から3カ月後までの	カレセプトでの情報により)		
位						
果から	受療中断の場合 理由(必須)	[複数チェック可] (継続保健指導から3カ月後までのレセプトがない場	合での本人からの情報)		
5 (□受療する必要がないと思	っている 口忙し	い □家庭の理由 □経済的な問題	□医療機関不信 □医療機	関へのアクセス	
受療	□怖い □先に生活習慣	改善をしてみたい	口その他(具体的に)			
状						
況						
	未受療の場合 理由(必須)	[複数チェック可]				
	□受療する必要がないと思	っている 口忙し	い 口家庭の理由 口経済的な問題	□医療機関不信 □医療機	関へのアクセス	
	口怖い 口先に生活習慣	改善をしてみたい	口その他(具体的に)			
	受療先医療機関名		当該医療機関の	の選定理由 □紹介 □本	:人希望	
	受療の重要性[0(最小)~10(最大)](必須)	段階 受療行動の可能	能性[0(最小)~10(最大)](必須)	段階	_

	管理台帳への記載(必須)	□記載済み				
	健診受診勧奨予定	平成	年 月 日に健診未受診っ	であった場合に受診勧奨実施		
		-				
	健診受診勧奨結果					
	•実施日 平成 4	年 月	В			
翌						
年度	·対象者 口本人	□家族				
の	・実施方法 □訪問 □個	国別 □電話	口文書 ロメール			
健診	口その他(具	体的に)				
診受診	・未受診理由(聞き取れた場合に記載)					
勧奨		□必要なし □経	斉的な問題 □医療機関不信			
哭	口その他(具	体的に)				
						_
	・健診受診済みと回答	口 平成	年 月 日			
	管理台帳への記載	口記載済み				
備も	ž					

保健指導記録票 継続保健指導① (健診受診後7~8か月) 様式5-3 オモテ (生年月日) 氏名 # 被保険者番号 住所 象者個 オリ **- . - . - . - . - .** 平成 年 月 日 特定保健指導積動情不 特定健診受診日 健診結果 人情報 年齢 Г 年度目] □受療中重症化 □非重症化 管理用番号 個人番号 レセフトチェック実施日(必須) セプ □レセプトあり(平成 年 月診療分) 口調剤レセプトあり □レセプトなし(未受療・中断) ·受療疾病名 血圧 糖 脂質 •投薬名 確認 ·初診年月日 平成 年 日 保健指導計画(必須) よみとり(アセスメント) (準備に要した時間 分程度) 指導準備 指導保健師番号(必須) 氏名(必須) 保 健 実施者(必須) 指 導 実施日(必須) 平原 □本人 □家族(□本人、家族とも会えず 実施日(必須) 平成 月 実施形態(必須) □訪問 □個別 □電話 施 実施時間(必須) 時 分~ 時 分 分間 □その他 (所要時間の逸脱の場合その理由) 指導場所(必須) □自宅 □その他 指導内容 家族構成(必須) □ 単身 □ 夫婦のみ □子どもまたは親等2人世帯 口3人以上世帯 職歴 12時 使用した資料番号(必須) 支援した内容 ・リスク低下の阻害要因 [行動することによる利益の理解][実際の行動することによる負担・障害] ・受療と併せて、必要な生活習慣の改善について(継続指導時に向けて)(必須) [複数チェック可] □食事 □身体活動 □喫煙 □飲酒 □睡眠 □休養 □なし 具体的に ・提案した行動のきっかけ(必須) □不要 □困難 受療以外に、前回の保健指導以降始めたこと 口あり 口なし 具体的に ・その他

保健指導記録票 継続保健技

継続保健指導① (健診受診後7~8か月)

様式5-3

オモテ

保健指導記録票 継続保健指導① (健診受診後7~8か月) 様式5-3 管理用番号 個人番号 健指導結果から □ 継続受療(非薬物治療) (初回保健指導から6カ月後までのレセプトでの情報により) 受療していた場合(必須) 受療結果(必須) □ 継続受療(薬物治療) (初回保健指導から6カ月後までのレセプトでの情報により) □ 継続受療の必要なし(医師の指示) (初回保健指導から6カ月後までのレセプトがない場合での本人からの情報) (受療状 未受療の場合 理由(必須) [複数テェック可] (初回保健指導から6カ月後までのレセプトがない場合での本人からの情報) □受療する必要がないと思っている □忙しい □家庭の理由 □経済的な問題 □医療機関不信 □医療機関へのアクセス □怖い □先に生活習慣改善をしてみたい □その他(具体的に) 今後の受療について(必須) 受療先医療機関名 当該医療機関の選定理由 口紹介 口本人希望 受療の重要性[0(最小)~10(最大)] 段階 受療行動の可能性[0(最小)~10(最大)] 段階 健診受診勧奨予定 平成 年 月 日 に健診未受診であった場合に受診勧奨実施 健診受診勧奨結果 ・実施日 平成 月 日 ·対象者 □本人 □家族 ・実施方法 口訪問 口個別 口電話 口文書 口メール □その他(具体的に) ・未受診理由(聞き取れた場合に記載) □忙しい □必要なし □経済的な問題 □医療機関不信 口その他(具体的に) ・健診受診済みと回答 口 平成 年 月 日 管理台帳への記載 □記載済み 備考

保健指導記録票 継続保健指導① (健診受診後7~8か月) (2015.07.27改編)

様式5-3

保健指導記録票 継続保健指導 (2年度目以降手書用) 様式5-4 オモテ (生年月日) | 住所 | 被保険者番号 | オリ | 特定健診受診日 | 平成年 | 月日 | 重症種別 | 血圧糖 | 脂尿 | 特定保健指導・積 動 情 不 者個 健診結果 人情 [**年度目**] 口未受療重症化 口受療中重症化 口非重症化 年齢 報 管理用番号 個人番号 指導保健師番号(必須) 氏名(必須) 健 実施者(必須) □本人 □家族(□本人、家族とも会えず 指 **実施日(必須**) 平成 年 月 日 実施形態(必須) □家庭訪問 □個別面談 実施時間(必須) 時 分~ 時 分 分間 □その他 (所要時間の逸脱の場合その理由) 指導場所(必須) □自宅 □その他 保健指導の参考としたデータ □ 特定健診以外の健診(人間ドックなど) □医療機関での検査結果 □その他 (データの値など記入) 相談(目標と)したこと

保健指導記録票 継続保健指導 (2年度目以降手書用)

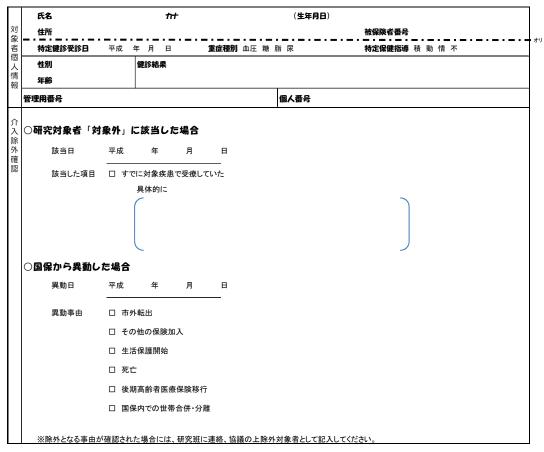
様式5-4 オモテ

	保健指導記録祟	継続活達指	· 得 (2年度目以降手書用)		様式5 -4	ウラ
			管理用番号	個人番号		
				<u> </u>		
,-		1/1+10 12+1-1-1-1-1			*	
仔	R健指導記録票 継	統保健指導	(2年度目以降手書用)	1		ウラ

継続保健指導 (2年度目以降手書用)

保健指導記録票

介入除外確認シート 様式6



介入除外確認シート 様式6

別添1 変更の履歴

変更年月	変更箇所	変更内容	変更理由
平成 26 年 5 月 29 日	Ⅱ受療行動促進モデルに基	一般的な保健指導にかかる	受療行動促進モデルを
(Ver2.0)	づく保健指導	定義を追加、受療行動促進	活用した保健指導と、一
	1.受療行動促進モデルの考え	モデルを活用した保健指導	般的な保健指導の違い
	方(ヘルス・ビリーフ・モデ	の定義を追記	を明確にしたため。
	ルを基礎に)		
	2.1 対象者	Hb Alc、血糖値における重	研究計画書の基準値変
		症化ハイリスク者の基準値	更に整合。
		の変更	
	2.2 プログラムの流れ	図 2-1 変更	検討中の介入 2 年度目
		図 2-2 追加	以降の保健指導プログ
			ラムを確定したため。
	3.1 管理台帳 (様式 1)	図3変更	使用方法を、より詳細に
		図3の説明の変更	記載したため。
	3.2 健診結果経年表(様式 2)	「健診結果経年表」未登載	使用方法を、より詳細に
		であったが図4として追加	記載したため。
		図4説明の変更	
	3.3 構造図(様式 3)	「構造図」未登載であった	使用方法を、より詳細に
		が図5として追加	記載したため。
		図5説明の変更	
	3.4 保健指導記録票 初回(様	図4、5として登載していた	様式を一部変更したた
	式 4)	ものを図6に変更	め。
		図6説明の変更	使用方法を、より詳細に
			記載したため。
	3.5 保健指導記録票 継続保	図6として登載していたも	継続保健指導①、②につ
	健指導①(様式 5-1)	のを図7と図8に変更	いて、保健指導記録は同
	3.6 保健指導記録票 継続保	図7、8説明の変更	じ様式を使用する予定
	健指導②(様式 5-2)		であったが、それぞれの
			様式を作成したため。
			それぞれの使用方法を、
			より詳細に記載したた
	- A + DA 11 = L = T -) / 124	F=	め。
	3.7 介入除外確認シート (様	図7として登載していたものない。	様式を一部変更したた
	式 6)	のを図りに変更	め。
		図9説明の変更	使用方法を、より詳細に
	4.17 時代学べ田・ファック	末 1 亦正	記載したため。
	4保健指導で用いる資料	表1変更	検討中の保健指導資料
		説明追加	を新たに作成したため。
			保健指導資料集が、受療
			行動促進モデルのどの
			段階で主に使用するか、
			追記したため。

変更年月	変更箇所	変更内容	変更理由
	5.2 保健指導に健診結果経年	説明追記	保指導時に健診結果経年表
	表と構造図を活用	図 12 追加	と構造図を活用するための
			説明をより詳細に記載した
			ため。
			更に、保健指導計画立案時の
			構造図活用の考え方を図と
			文章で説明するため、図を追
			加し、説明文章を追加したた
			め。
	Ⅲ保健指導の実務	図 10 を図 13 に変更	図番号を変更したため。
	1. 保健指導のながれ		
	3.2 方法	対象者の変更	対象者について、より詳細に
			記載したため。
	3.3 保健指導内容	表3変更	「保健指導の流れ、時間配分
			例」に「使用資料番号」を追
			加したため。
	5.4 記録	表5変更	「保健指導の流れ、時間配分
		表6変更	例」に「使用資料番号」を追
			加したため。
	9.対象者における介入 2 年度	説明追記	検討中の介入 2 年度目以降
	目以降の保健指導		の保健指導プログラムを確
			定したため。
平成 27 年 1 月 13 日	Ⅱ受療行動促進モデルに基	図6変更	記入必須項目の記入漏れを
(Ver3.0)	づく保健指導	説明追記	防ぐため、その旨記載したた
	3.4 保健指導記録票 初回(様		め。
	式 4)		
	3.5 保健指導記録票 継続保	図7変更	記入必須項目の記入漏れを
	健指導①(様式 5-1)	説明追記	防ぐため、その旨記載したた
			め。
	3.6 保健指導記録票 継続保		記入必須項目の記入漏れを
	健指導②(様式 5-2)	説明追記	防ぐため、その旨記載したた
			Ø.
	3.7 介入除外確認シート (様	図9変更	研究計画書の保健指導の中
	式6)	説明追記	止基準の変更に整合。
	4保健指導で用いる資料	表1変更	保健指導資料 (共通-1-②) を 追加したため。
平成 27 年 10 月 21 日	Ⅱ受療行動促進モデルに基	追記	保健指導プログラムの実施
(Ver4.0)	づく保健指導		目標値を追加したため。
	2.3 目標		

変更年月	変更箇所	変更内容	変更理由
	3.1 管理台帳	図3変更	保健指導介入年度の記載欄 等追加のため。
	3.4 保健指導記録票 初回(様式4)	図6変更 説明追記	モニタリングの実施に関する手順書と整合。 記入必須項目の記入漏れを 防ぐため、その旨記載したた め。
	3.5 保健指導記録票 継続保 健指導① (様式 5-1、様式 5-3)	図 7 を図 7-1 に変更 図 7-2 を追加 説明追記	モニタリングの実施に関する手順書と整合。 記入必須項目の記入漏れを 防ぐため、その旨記載したた め。 介入 2 年度目以降の継続保 健指導①要の保健指導記録 票(様式 5-3) を追加したた め。
	3.6 保健指導記録票 継続保健指導② (様式 5-2)	図8変更 説明追記	モニタリングの実施に関する手順書と整合。 記入必須項目の記入漏れを 防ぐため、その旨記載したた め。
	3.7 介入除外確認シート (様式 6)	介入除外判定にかかる 事務手順の追記	介入除外判定にかかる事務 手続きを定めたため。
	3.7 介入除外確認シート ③国保から異動した場合	(除外に該当)から(追 跡期間の終了)に変更	
	Ⅲ保健指導の実務 3.2 方法	保健指導の進め方に関する説明追記	初回保健指導の進め方について、詳細に記載したため。
	5.3 方法	保健指導の実施形態に ついて追記	保健指導の実施形態について、詳細に記載したため。
	9 対象者における介入 2 年度 目以降の保健指導 1)未受療の重症化ハイリスク 者(治療放置・中断含む)	未受療の定義を追記	未受療の定義を定めたため。
	2)受療中のハイリスク者	保健指導方法の追記	継続保健指導①の実施方法 について、研究計画書の初回 指導時の記述に合わせた。

変更年月	変更箇所	変更内容	変更理由
	3)非重症化ハイリスク者	保健指導方法の追記	保健指導の回数、時期について重症化ハイリスク者と同様とした。
	(3)健診未受診者のうち・・・・(省略)	説明追記 様式 5-4 追加	2年度目以降の保健指導の実施について追記したため。 これに伴い様式 5-4 を追加。
	(3)健診未受診者のうち・・・・(省略)	「研究班に送付する」を「データセンターに 送付する」に変更。そ の後の保管について明 記。	解析データに用いられない 保健指導結果の保管につい て明記した。
	10.保健指導が困難になった 場合の対応	追記	介入除外判定にかかる事務 手順内に記載していたが、除 外該当項目ではないため、改 めて、項を設け記載。

厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業) 生活習慣病重症化予防のための戦略研究

『自治体における生活習慣病重症化予防のための 受療行動促進モデルによる 保健指導プログラムの効果検証に関する研究』

平成27年度 総括・分担研究年度終了報告書

研究代表者 磯 博康 大阪大学教授 平成28 (2016) 年 4月

「自治体における生活習慣病重症化予防のための受療行動促進 モデルによる保健指導プログラムの効果検証」(J-HARP)

モニタリングの実施に関する手順書

第1版 作成日 平成25年11月 13日 第2版 作成日 平成25年11月 29日 第 3 版 作成日 平成 25 年 12 月 5 日-2 第3版修正 作成日 平成25年12月18日 第4版 作成日 平成26年1月8日 第4版修正 作成日 平成26年1月9日 第5版 作成日 平成26年1月 28日 第6版 作成日 平成26年3月11日 第7版 作成日 平成26年3月18日 第7版修正 作成日 平成26年4月1日 第8版 作成日 平成26年5月19日 第8版修正 作成日 平成26年5月29日 第9版 作成日 平成26年6月5日 第9版修正 作成日 平成26年7月24日 第10版 作成日 平成26年11月5日 第11版 作成日 平成26年12月18日 第12版 作成日 平成27年2月4日 第13版 作成日 平成27年9月10日

> 厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業) 「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」

0. モニタリングの基本的確認事項

○手順書の目的

本手順書は、「自治体における生活習慣病重症化予防のための受療行動促進モデルによる保健指導プログラムの効果検証」の保健指導実務に対しての、モニタリングを実施するための手順書である。モニタリング実施者が、保健指導実務のモニタリングを適切に実施するための手順その他必要な事項を定める。

○モニタリング実施者の責務

- 1. モニタリング実施者は、保健指導実務が手順書の内容に沿って適切に実施されていること、必要な事項が正確に記録されていること、及びデータの信頼性が十分に保たれていることを確認する。
- 2. モニタリング実施者は、モニタリングにより、保健指導の適切な実施に影響を及ぼすような事項を確認した場合、あるいは手順書からの逸脱等を確認した場合は、当該事項を速やかにモニタリングチームリーダーに伝え、チームリーダーと協働しそれらの事項を改善・防止するための適切な措置をとるように介入チームに依頼する。
- 3. モニタリング実施者は、モニタリングを実施した都度にモニタリング報告書を作成 し、モニタリングチームリーダーに提出する。
- 4. モニタリング実施者は、モニタリングの際に得た身元に関する情報その他の個人情報を漏らしてはならない。

○モニタリング実施者の要件

- 1. モニタリング実施者は、看護職または医師の資格を有する者とし、モニタリングに 必要とされる、以下 4 つの基本的な科学的及び臨床的知識を有し、手順書、およびモニ タリング手順書を理解して臨むことができる者とする。
- 1) 生活習慣病の保健指導実務に関連する医学・薬学・看護の基本的知識
- 2) 生活習慣病の保健指導に関連する法規、生活習慣病関連のガイドラインに関する情報
- 3) 疫学・統計学に関する基本的知識
- 2. モニタリング実施者は当該モニタリングの対象となる自治体において、当該保健指導に従事しない。

○介入群のモニタリングの頻度

モニタリング実施者は、モニタリング業務を十分に実施するために本研究終了時までの期間適切な頻度でモニタリングを行う。保健指導実施中のモニタリングは、初年度は3

回、2年度目以降は年2回実施する。

原則として、データセンターに送付された記録物によって実施するが、必要に応じて 自治体を訪問して実施することもある。

○介入群のモニタリング報告書

モニタリング実施者は、モニタリングを実施する毎に、2週間以内にモニタリング報告書を作成し推進室に提出する。作成枚数は、自治体毎に1枚は必ず作成するものとする。 モニタリング報告書には以下の内容を記載するものとする。

- 1) モニタリングを行った日時
- 2) モニタリングの対象となった市の名称
- 3) モニタリング実施者の氏名
- 4) モニタリングの目的
- 5) モニタリング結果の概要、モニターが点検した内容の要約及び重要な事項あるいは 事実
- 6) 提出した資料がある場合、情報の種類・名称
- 7) 入手した資料がある場合、情報の種類・名称 その他必要事項
- 8) モニタリング対象者の氏名、所属、職名※
- 9) モニタリング対象者に告げた事項並びに講じられた若しくは講じられる予定の措置※

※8)、9) は自治体に訪問する必要があった場合のみ記載する。

1. 介入群のモニタリング

1-1 モニタリングを実施する時期 (モニタリングの流れ図参照)

1年目のモニタリング時期:1回目 初回保健指導実施後

2回目 健診受診後6~7ヵ月目

3回目 健診受診後 9~10ヵ月目

2年度目以降のモニタリング時期:1回目 初回保健指導実施後

2回目 健診受診後9~10か月

※データセンターへの記録表送付数を確認し、初回実施以降は原則として月 1 回程度モニタリングを実施する。

※初回に関しては1自治体100例をモニタリング実施目標とする。ただし、当該年度内に100例に満たない自治体に関しては50例を目処にモニタリング報告書を作成する。 1年目2回目以降は50例にてモニタリング報告書を作成する。

ただし、自治体からの提出帳票数、モニタリング状況に応じ、モニタリング者が早期に 対応が必要と判断した場合は、20に達した段階でモニタリング報告書を作成することが できる。

1-2 モニタリングにより把握する内容・評価基準

モニタリング実施者は、モニタリングを実施する各時期において、以下 4 点について確認を行い、逸脱している場合は、当該事項を速やかに推進室に伝え、介入チームに報告する。

- 手順書に沿った進行(プロセス)が実施されているか。
 (対象者の抽出、必要書類の作成、初回保健指導、継続保健指導①、継続保健指導②、 健診受診勧奨の実施、2年度目以降の継続指導)
- 2) 必要な記録がされているか。

(管理台帳の記載、指導記録票の記載、介入除外確認シートの記載)

- 3) 受療行動促進モデルに沿った面接が実施されているか。
- 4) 保健指導の内容は、管理台帳の健診データや生活習慣病関連ガイドラインに沿ったものか(指導計画、指導資料についての確認で把握)
- ・モニタリングチェック表の評価基準:

保健指導のモニタリングチェック表の保健指導の全体評価として、0から10点を 配点する。判定はA,B,C,D,E、Fとする。判定Aは10か9点、判定B は7か8点、判定Cは6点、判定Dは5点以下、判定Eは家族のみ実施、判定F は未実施とする。

各自治体において、以下の①~④を目標値とする。

- ① 必須項目(記載事項)の未記入票の割合: A, B, C, D, E 判定数の未記入票の総和 /A, B, C, D, E 判定数の総和 0%。 必須項目に一項目でも未記入がある場合、未記入票と判断する。
- ② 訪問・個別の割合: A, B, C, D, E 判定数の訪問・個別件数の総和/A, B, C, D, E 判定数の総和 50%以上
- ③ 家族のみの保健指導実施の割合: E判定数/A, B, C, D, E 判定数の総和 10%以下
- ④ A または B 判定 (7~8 点以上) 数: A, B 判定数の和/A, B, C, D 判定数の総和 80%以上

さらに、受療行動促進モデルに沿っているかの定性評価(モニタリング報告書のコメント、 モニタリングした帳票の C~D 判定者が一部の実施者に集中しているかも含める)を行う。 また、保健指導を実施した対象者の状況について把握するため、モニタリングした保健指 導記録票の以下の項目について確認する。

- ① 実施者において、本人・家族ともにあえず のチェック数
- ② 提案した行動のきっかけにおいて、困難のチェック数
- ③ 受療の重要性、受療の可能性の段階

チェック済みのモニタリングチェック表は、データセンターにて入力し、入力したファイルを推進室へ提出する。推進室は、チェック入力の確認をし、モニタリングチームへフィードバックする。

なお、これらの項目の記入は、100%を目指す。そのため、各介入自治体のリーダー保健師 に保健指導記録票の記入状況の確認をしてもらう。

1-3 保健指導のモニタリング項目

1-3-1 :1回目(初回保健指導)のモニタリング

- ・モニタリングの範囲:開始年度保健指導の準備から初回保健指導実施、訪問前後の記録 まで。
- ・実施時期:開始年度の初回指導訪問指導後。
- ・モニタリング方法:管理台帳、保健指導記録票、介入除外確認シートによる確認を行い、 モニタリングチェック表①を使用してチェックする。
- ・モニタリングの視点:保健指導実施者が、対象者について現在の健康状態、将来のリスクと受療の必要性を理解し、受療することが対象者にとって価値があると考えられるように支援しているかについて、評価を行う。